Half Century
寄り添い半世紀
Monthly Hot Communication

相思相愛でいつまでも一緒に

佐々木 信義（のぶよし）さん（86）
紘子（ひろこ）さん（81）
津山町・本町三丁目
1963（昭和38）年９月入籍

★お互いの第一印象は
【信義】東京で７年暮らし、大勢美人を見てきましたが、これまで出会ったことのないすてきな女性に出会い一目ぼれ。
【紘子】夢合わせです（笑）。

★結婚当時の思い出は
【二人】おばあさんと母を、実家の母親だと思って８年間自宅で気持ちよく介護し、看取ってくれたことに感謝の思いでいっぱいです。子どもたちにも老いるということを見せられて、良い勉強になったと思います。

★お互いの性格は
【信義】腰痛で入院したとき、手を固く握り痛みを分かち合ってくれてマリア様のように感じました。
【紘子】誠実で真っすぐで正直だけど、周りが見えなくなることもあるようです。

★夫婦円満のコツは
【信義】お互いが心の支えだね。女房がいない生活は考えられないよ。
【紘子】愛する旦那様、家族、兄弟や皆さんと仲良くすること。

★現在の楽しみは
【二人】老人の集いの場として、月２回カフェを開くこと。

★これからしたいことは
【二人】元気でお互いの趣味や自分たちの生活を楽しんで過ごしたいと思っています。

One's Home
ふるさとへの思い
Monthly Hot Communication

小町 鈴子（すずこ）さん（70）
在京豊里会事務局員
豊里町（白鳥）出身（旧姓＝及川）

「小・中学校の思い出」

生まれてから十五年、北上川と山々に囲まれたのどかな生活を送りました。運動会や遠足、イナゴ捕り、つらいことや楽しいことがたくさんありました。中学校は遠かったので初めての自転車通学。大雪が降り、途中のお店に自転車を預け、歩いて学校へ行ったこともありました。卒業後は、東京での寮生活。当時は集団就職者が多く、東北から沖縄までいろいろな地方の言葉が入り交じり、同じ日本なのにこんなにも違うものかと面白おかしく、時には恥ずかしい思いもしました。

東京から神奈川に移り住み、職場の人の紹介で結婚。現在は茅ヶ崎市に住んでいます。実家を後にして、半世紀が過ぎましたが、今でもふるさとの友とは交流が続いています。結婚してからは、なかなか自由な時間がなく、冠婚葬祭でもない限り帰省することができませんでした。初めて一人で帰省することができたのは十一年前、松島で還暦のお祝い会が開かれた時でした。やっと大勢の友に会えるとドキドキ、ワクワクが止まりませんでした。とても有意義な時間を過ごすことができたのは言うまでもありません。

その１カ月後の３月11日、東日本大震災。テレビの映像を見て大きなショックを受けました。我がふるさとが―。涙が止まりませんでした。10年ひと昔といいますが、今は３年ともいわれ、時代はどんどん流れていきます。あれから11年が過ぎました。復興が進んでいる所、まだまだの所もあるようですが、それでも東北の人たちは負けないです。前向きな姿勢で頑張っています。

人のために何かできることはないか。自分に問いかけますが、せめて人に迷惑をかけないように、自分の健康、家族の健康、そしてまた元気で友に会える事を楽しみに、一日一日を悔いのない生活を送りたいと思っています。

おらほの産直

豊里地域産物活用施設「産直がんばる館」

地場産野菜は手頃な値段で好評です。旬の野菜を使ったレシピを設置していますので食材選びの参考にご覧ください。

今月は、豊里地域産物活用施設「産直がんばる館」の髙橋涼子（りょうこ）さんにお話を伺いました。

Qおすすめ商品などを教えてください

寒さが厳しい季節を迎え、キャベツやホウレンソウ、ネギなどの葉物が鍋物の具材に人気です。野菜は「採れたてで味が良く値段が手頃」だと、市内だけでなく市外からのリピーターも多いです。

その他には切りゴボウや落花生が人気です。切りゴボウは、ふんわりした細目の千切りでシャキシャキとした歯ごたえ。ニンジンと合わせたキンピラやこれからの季節は雑煮の具材として人気があります。地元産落花生はとてもおいしいとファンの多い商品です。年末年始のだんらんのおやつにおすすめです。

今後も求めやすい価格で旬の物を販売していきますので、ぜひご来店ください。

おひたしや炒めものにも人気のチヂミホウレンソウ

Qこれから開催するイベントなどを教えてください

冬のホタルが瞬く「豊里駅前冬の蛍通り」が駅前を彩ります。買い物と一緒に駅前通りのイルミネーションもお楽しみください。

切りごぼうや手作りの漬物は１年を通して人気商品

【問い合わせ】豊里地域産物活用施設「産直がんばる館」
☎0225（76）6201

まちの文芸

俳句・川柳

作品募集！
●２月号は短歌です。住所・氏名・電話番号を記入し、１月31日（月）までご応募ください。作品・氏名には全てふりがなを振ってください。
●応募者多数の場合選考して掲載します。

俳句――

霜月や朝一番に湯を湛ふ　千葉 泰子（迫）
銀杏掃く娘とゆれる金飾り　梁川 政宏（迫）
根雪立つ案山子一本田の主　鈴木 厳優（登米）
参道に津波の標冬紅葉　後藤 裕子（東和）
霜月や腕に魔除けのトルコ石　石川 敦子（中田）
山茶花や角路多しとよま町　小野寺 基（中田）
霜月にそっと寄り添ふ老犬と　菊地 完二（中田）

川柳――

文化の日元同僚とカフェテラス　山内 晨（中田）
幸せのひき出しのあり花八手　今野 ひろ子（豊里）
きびきびと消火訓練天高し　大友 ふき江（津山）
好日の一日を惜しむ老の秋　佐藤 喜美子（津山）
紅葉して人待つ如く須川岳　佐藤 みゑ子（津山）
縁起良き天狗のうちわ大八手　高橋 ちよの（津山）
穭田の遠の栗駒山嶺白し　武山 より子（津山）
紅葉散る私の余生いつ散るや　山田 直信（津山）

応募総数41作品